

国立公文書館所蔵『大阪専門学校  
大阪 第5の1冊』の第五文書は  
「日本大学専門学校校舎増築認可」  
に関する文書群である。当時の同校  
「設立者」の「山岡萬之助」より「文  
部大臣鳩山一郎」に宛てた昭和八年  
十月十九日付の「當校校舎増築」の  
認可の「御願」が出されており、「増  
築理由」は「既存校舎ニテハ狹隘ヲ  
感スルト同時ニ既存校舎ハ木造ナル  
ヲ以テ不燃質ノ校舎ヲ必要トスルヲ  
以テナリ」とされる。

ここで刮目すべきは、次の様な内容  
の小野村胤敏先生からの「昭和八年  
拾月貳拾四日」付「寄附申込書(写)」  
が添附されている事である。それは、  
「金貳萬圓也」を「日本大学専門學  
校校舎建築資金」として「昭和九年  
ヨリ昭和拾貳年ニ於テ毎年金五千圓  
宛拂込寄附致候也」となっている。

国立公文書館所蔵『大阪専門学校  
大阪 第5の2冊』の第二文書  
は「大阪府經由 日本大学専門学校  
校舎増築認可」に関する文書群であ  
る。当時の同校「設立者」の「山岡  
萬之助」より「文部大臣 木戸幸一」  
に宛てた昭和十二年十一月四日付の  
「御願」が冒頭に有り、「今般當校校  
舎増築致度候ニ付キ御認可相成度別  
紙摘要書仕様書及圖面相添此段及御  
願候也」とされ、「増築理由」は「本  
校既存ノ木造平建大講堂及ヒ木造平  
建校舎各壹棟ハ昭和九年九月貳拾壹  
日ノ関西大暴風水害ニ於ケル被害建  
物ニシテ之カ復興事業トシテ鐵筋コ  
ンクリート造ニヨル本増築ヲ必要ト  
スルモノナリ(参考寫眞一葉添附)」  
とされている。そして、ここで注目  
に値するのは、左掲の如き「借入金  
明細」が添附されている事である。

以上から、小野村胤敏先生の専門  
学校への財政的貢献は、「日本大学  
専門学校校舎建築資金」として昭和  
八年拾月貳拾四日に申込まれたとこ  
ろの、昭和九年から昭和十二年まで  
の毎年「五千圓」の合計「貳萬圓」  
の寄附であり、昭和十二年に同専門  
学校校舎増築の為の大阪府北河内郡  
交野村「交野無盡金融株式會社」より  
の借入金「金五萬圓」の「擔保提  
供者」となっている事である。

従って、前者は小野村胤敏先生が  
同専門学校長代理に就任する前年に  
属し、後者は同校長に就任した翌々  
年に属するのであり、しかも後者は  
「関西大暴風水害」、即ち「室戸台  
風」で被害を蒙った「日本大学専門  
学校校舎増築」の為の交野無盡金融  
株式會社からの借入に関するもので  
あるが、この史料に掲げられる五萬  
圓は塚口氏の前掲論考等の挙げる金  
額三十萬圓とは、文字通り桁違いの  
金額である。

このように「可信性(Glaubwürdigkeit)」  
の高い一次史料を狩猟し、それらを  
歴史学の徹底した史料批判の篩に通  
す事によってのみ、歴史的事実の真  
正なる「認識」を得る事が出来るの  
は、今更贅言を重ねる必要もない。

(近畿大学名誉教授  
建学史料室研究員 荒木 康彦)

#### 中央図書館調査報告①

中央図書館で、桑原玉市『大東亞  
皇化の理念』(發行所 富士書店・配

給元 日本出版配給株式会社・昭和  
十七年六月十五日發行)なる図書  
三部を見出した。本書は著述部分  
一九四頁、國防科學研究協會輯録  
になる「感銘録(抜粋)」二十八頁  
から成る。「皇紀二千六百二年二月  
二十五日」に「大阪郊外布施市假寓」  
に於いて著者が記した「ことわりが  
き」に従えば、同協会主催の「講演  
の稿本」に「多少の補訂」を施した  
著述部分に「感銘録(抜粋)」が付  
されて、「國防科學研究協會より研  
究叢書第一輯」として刊行されたも  
のである。CZで検索すると、国  
内の他の大学図書館の八館で夫々一  
部ずつ所蔵されているが、複数の部  
数を所蔵する大学図書館はない。故  
に、本学中央図書館のみが本書を複  
数の部数所蔵している事が、先ず以  
て刮目に値する。この三部の夫々  
の、ここで注目される点は以下の通  
りである。

①裏表紙見返しに「近畿大学図書  
印 47.9.11 寄20425」の楕円

形スタンプが、同遊び紙に「拙著  
図譜」のスタンプが押されている。  
背表紙の上部が少し欠損し、裏表紙  
は外れている。

②裏表紙見返しに「近畿大学図書  
印」の楕円形スタンプが押されてい  
て、「46.3.5 寄16227」と書き込ま  
れている。製本済みである。

③裏表紙見返しに「近畿大学図書  
印 46.3.27 104754」の楕円形スタ  
ンプが押されている。製本済みであ  
る。

①が傷んでいるものの、本来の装丁・サイズである。又、①・②・③の来歴は、特に②・③の如きは製本済の為、不明である。だが、「近畿大学図書」や寄贈のスタンプがある事から、本書の発行年月日を勘案すれば、①・②・③は本学前身の専門學校に於いて何らかの形で所蔵或いは使用されたと推測される。

そして、本書に於いて最も注目されるのは、著者による「ことわりがき」の末尾に記載されている著者の肩書が「日本大學大阪専門学校教授兼監」となつている点であり、そして巻頭に収録されている「皇風治東亜」という「題字」が「大阪師團長關原六中将」によるものである事も看過出来ない。

昭和十二年六月二十日に日本大學本部に皇道研究所が今泉貞助（一八六三—一九四四）を中心にして設置されたが、同年十一月廿日付『日本大學新聞』第二八六號に掲載された「辭令」の欄に「昭和十二年十月十八日 桑原玉市 日本大學皇道研究所主任に任ず」と認められる。日本大學では昭和十三年四月二十日に皇道學講座が開講されたが、これが昭和十四年二月二十日皇道學院と改称されており、桑原先生は本書の「ことわりがき」に有るが如く、この皇道學院でも教授も兼任していたという事であろう。

桑原玉市先生の前身の専門學校に於ける足跡は、次の二点が知られている。

①昭和十二年の「生徒の同盟休校」解決の為に赴任し、解決後そのまま同校の学監に就任した事  
②昭和十九年の同校に於ける配属將校引き揚げに際し、軍部と同調した動きがあつた事  
本書の性格や「大阪師團長關原六中将」による「題字」からも、②の点は容易に推測できる

桑原玉市先生の略歴に関しては、次の文献から、断片的な情報を得ることが出来た。

- ①『日本紳士録』第六十版（交詢社出版局 昭和四十五年）
- ②『日本紳士録』第六十一版（交詢社出版局 昭和四十六年）
- ③『人事興信録 上』第廿二版（人事興信所 昭和三十九年）
- ④『人事興信録 上』第廿三版（人事興信所 昭和四十一年）
- ⑤『現代物故者事典』総索引（昭和元年—平成二十三年）『Ⅱ学術・文芸・芸術編』（日外アソシエーツ 平成二十六年）

①④から判明した桑原玉市先生の略歴は、次の通りである。新潟県出身、明治三十三年十一月五日生まれ、昭和六年東京帝國大學經濟學部經濟學科卒業。更に、①④によれば、昭和「29年福岡高専同33年福岡電波高校を夫々創設校長に就任同35年福岡電子工業短大同38年4月電波学園電子工大を各創設学長となる」とある。又、①④によれば、読みは「くわばらたまいち」と分かる。そして、⑤によれば、「昭和57年12

月16日」死没となっている。このように、中央図書館所蔵の圖書の調査・考察を手掛りにして、本学の前身の専門學校の歴史を考察する上で、逸する事が出来ない存在としての桑原玉市先生を見出し、その略歴を把握し得た訳である。

（近畿大学名誉教授  
建学史料室研究員 荒木 康彦）

## 中央図書館調査報告②

本学中央図書館に於ける調査で、校史関係史料として価値のある次の四点を発見したので、その内容及び意義を報告する。

- (1) 小野村資文『小野村氏家譜並家計調査記録』（昭和五十二年 小野村資文発行）
- (2) 『市制施行上申書 大阪府中河内郡布施町・長瀬村・小阪村町・楠根町・意岐部村・彌刀村』（昭和十二年 清水膳写堂印刷）
- (3) 『六ヶ町村合併市制施行記念誌 布施町・長瀬村・小阪村町・楠根町・意岐部村・彌刀村』（昭和十三年 清水膳写堂印刷）
- (4) 『布施町誌 續編』（布施町誌編輯會發行 昭和十二年）

(1) は縦約二十六センチ・横約十八・五センチで、三二〇頁から成るもので、整理番号は「2883・067」であり、裏表紙の見返しに「近畿大学図書 52.4.12 寄30580」の楕円形のスタンプが押されている。本書は私家版であり、奥付に「二〇〇

部のうち第一〇一号」（一〇一は手書き）と記されている。小野村資文先生からの寄贈と判断される。関西大学校友会新聞「関大」二二八—二三〇号に掲載された塚口義信「関大を彩る人々 小野村胤敏（上）・（中）・（下）」が転載されている。小野村家の歴代の方々に関する史料も採録され、特に小野村胤信の履歷書は小野村胤敏先生の伝記史料としても重要でもある。

(2) は縦約二十七・五センチ・横約十九・五センチで、三八二丁から成るものがオリジナルの厚紙の表表紙・裏表紙付で製本されており、整理番号は「3181・Sh89」であり、裏表紙の見返しに「近畿大学図書 49.3.15 寄23648」の楕円形のスタンプが有る。標記の六ヶ町村が内務大臣に提出した『市制施行上申書』の「副」でないかと推測される。当該六ヶ町村のあらゆる分野の統計数字が整理されて提示されており、当時に於ける当該各町村の政治・社会・経済の動向が具体的に把握出来る、就中「日本大學大阪専門學校」「日本大學大阪中学校」それぞれの具体的調査記録（昭和十一年四月一日現在）は非常に史料価値が高い。

(3) は縦約二十七センチ・横約十九・五センチで、四五三丁から成るものが製本されており、整理番号は「318263・R63」であり、裏表紙の見返しに「近畿大学図書 54.5.24 寄4374」の楕円形のスタンプが押されている。(2)に立脚して編

